



西原町

令和7年 西原町新年度の表彰式典

2025(令和7)年 12月議会
3月1日発行



ぎやい だより

No.103

令和7年 新春のつどい及び功労者表彰式典



今回の表紙題字

坂田小学校2年生

でるや

かばた

照屋 奏汰さん

3月定例議会

令和7年2月28日(金) 開会予定

CONTENTS

一般質問

P2～P13

補正予算・陳情

P14

臨時会・定例会議案議決結果

P15

議会活動・つばやき

P16

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

●本委員会が最終確認・編集をしたものです。



い じゅ さとる
伊集 悟 議員



問

直接雇用は対象だが、派遣や業務委託、ボランティア、PTAは対象か。

教育総務課長

今後示されるガイドラインで対応していく。

問

同法は前科者には有効だが、初犯は防げない。被害者の過半数が相談できてないという中、学校内外で相談しやすい体制づくりが必要では。

教育総務課主幹

性犯罪の未然防止は最も重要。早期発見のための児童生徒との面談・相談しやすい環境づくりに努めたい。

■こどもを性犯罪から守る日本版DBSの準備を万全に！

問

6月成立の「こども性暴力防止法」は、こどもに関わる仕事に就く人の性犯罪歴の確認が義務化されるが、過去に犯罪歴がなくとも、こどもや保護者から訴えがあった場合の反応は。

教育総務課長

直ちに学校と教育委員会では対応し、第一に被害者、児童生徒の安全を確保し、保護者の意向を確認し、警察機関に告発等の対応をする。

こども課長

各事業者は性暴力が疑われた場合、児童の保護、支援等の措置の義務がある。町も迅速に対応を協議し、助言・指導を行なう。

問

相談したい時にできないとの声がある。SC、SSWも足りない。不登校の半数が誰にも相談できずに休み始める現状。相談体制の工夫が必要では。

教育総務課主幹

不登校数の増加で気になる児童生徒へ細かな対応ができていない状況がある。学校への助言と併せて、12月1日付で町雇用のSSWを1名配置した。

■不登校対策の基本。子どもの悩みや辛さをもっと聞く体制を！

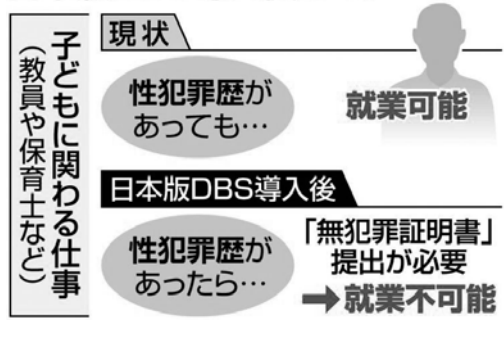
問

不登校の要因に「無気力」とあるが、こどもは魅力ある場所なら自然に足が向く。やる気をなくす根本原因は何なのか。もっと掘り下げて考えるべきでは。

教育総務課主幹

まず学校での対応を丁寧に行い、家庭訪問や保護者対応、SC、SSW、民生委員等と連携して対応したい。また魅力ある学校づくり等、学校に行きやすい環境づくりに努める。

日本版DBS導入後のイメージ



令和6年6月に成立した「こども性暴力防止法」

その他の質問

- 小学生が安心して過ごせる放課後児童クラブの支援拡充
- 障害の有無や年齢、性別を問わず、誰もが利用しやすい公園や学校施設
- 町民満足度の高い自治体DX・デジタルサービス
- 町民への確実な情報伝達・防災行政無線



き な ま さ も り
喜納 昌盛 議員



■町政全般について

問

次年度予算編成の現状と、一括交付金活用事業の計画は。国、県との調整の予定は。

町長

6月から事業計画表を作成、7月に計画ヒアリング、10月の予算編成方針に基づき、各課予算要求、10月下旬から11月初旬に課内ヒアリング、部長調整、事業精査、11月中旬から下旬に一次ヒアリングを実施。各課要求時点で約12億5,000万円の収支不足。一括交付金活用事業の次年度計画は、実施している事業の継続を国・県と調整中、国から次年度の配分額等が示されておらず、次年度予算案の中で示す。

企画財政課主幹 今年度3億8千万円の配分枠で、同程度になると見込んでいる。

問

「上原キャンパス跡地利用推進計画（案）」と今後のスケジュールは。

総務部長

同計画は、今年度4月に策定され、計画の方針や跡地の機能及びゾーンの名称、事業化に向けた進め方等の内容で、今後、公募、事業者の選定等を進めていくこととなっている。

企画財政課主幹

特に大きな動きがないのが実情で、アクションがあった場合は、その都度、協議会は開くとのこと、町としては積極的に関わっていく。



上原キャンパス跡地はどうなる？

問

いいあんべー家指定管理事業の次年度に向けた選考の現状。

福祉部長

9月20日に公募型プロポーザル

問

防災対策事業の実施計画はできているのか。

総務部長

実施計画の策定は、令和7年3月の完了を予定。

問

畜産事務運営事業は予定通り進められているか。

建設部長

優良母牛導入事業補助は予定者が決定。優良種付事業補助は、実績に応じて年度末に交付。畜産共進会事業は8月29日に開催。

その他の質問

○ 町民交流センター事務運営事業の事業内容の検討は怎么样了のか。

○ 各種選挙の低すぎる投票率に対する町長の見解は。

本委員会が最終確認・編集をしたものです。

による募集、プレゼンテーション審査を11月8日に実施し候補者を特定。



いいあんべー家の指定管理者は？

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

本委員会が最終確認・編集をしたものです。



まつ 勤 議員
なか 松 仲



■県政与党の賛成多数で水道料金値上げが可決!!

問 県議会で水道料金の値上げが可決。現状と値上げの見解は。

上下水道課長 企業局の値上げに伴い町の水道事業も料金の見直し改定が必要。水道の収入の検討を行い料金を幾らにするか、いつの時期に計画的に改定するか検討する。

■今後の都市計画、町づくりについて多様な選択肢を!

問

我が西原町は那覇広域都市計画区域に属しながらも中部地区であるという立地的側面より、町づくりにとってより良い選択肢を求めることが可能である。近年、中部広域都市区域への移行を進める中城村・北中城村の動向に注目が集まっている。中部広域への移行を考慮した場合の利点・欠点を問う。

建設部長

利点は、用途地域の指定のない区域において3,000㎡未満の開発による制限がなく工業立地への迅速な対応、人口増加、地価の格差是正が促進されること。欠点は乱開発が行われる等がある。

■貧困率全国一の沖縄、子どもの4人に一人が厳しい生活!?

問

子どもの学校給食費や病気療養費は世帯にとっては大きな負担となっている。中城村ではすでに18歳までの医療費無料化が始まっているが見解を聞く。

町長

給食費の無償化については国あるいは県の政策として実施していくべきものと考えている。

福祉課長

18歳までの医療費無料化については本町の単独予算で対象者を拡充するのは厳しい。

問

小波津地域等、役場周辺の土地用途変更について対策を問う。

町長

当該役場周辺の将来像として、中心核の西側から西原南小学校周辺を開発検討地域と位置付け作業を進めている。

■二元代表制の活性化で真のまちづくり議論を

問

地域防災計画や福祉計画、都市計画プランとか農業振興関係とか5年計画を踏まえたものは、どの市町村でも議会で議決事件としている。裏付けは議会基本条例で総合計画そのものも議決事項としているのが他市町村の現状がどうか。

副町長

ぜひ本町も議会基本条例を制定し規定をしてみたいと思う。



近隣市町村の総合計画と西原町まちづくり基本条例

その他の質問

- ごみ新炉建設について
- 教育委員の選任について



ぎ ま しゅん た ろ う
儀間 駿太郎 議員



■町政全般について

問

役場での避難訓練等はおこなっているか。

総務課長

避難訓練・防災訓練を年に一回

行っている。

問

町長が公務に出ている等庁舎内にいない場合の対策や訓練をすべきではないか。

環境安全課長

そのような訓練は行っていないが、事前に調整会議を持ったりすぐに連絡ができる対応をしている。

問

防災・災害について日頃の学校生活の中から指導できないか。

教育総務課主幹

いろんな状況を踏まえながら整理整頓、通路を通りやすくするようになど今一度学校のほうに周知徹底していきたい。

問

東部消防との定期的な会議等はおこなっているか。

環境安全課長

年度初めに集まり様々な情報交換を今年度は一回だけ行い防災に備えている。

問

行政同士しっかりと具体的な対応や意見を持つ場を西原町が音頭をとり定期的に開催すべきでは。

環境安全課長

東部消防とテーマをしっかりともって会議を開けるようにしていきたい。

問

街灯の新規設置における優先順位の考え方はどのようなになっているか。

土木課長

担当職員が現場のほうを確認して公共性が高く、暗さ加減等を踏まえ課内で会議をもって優先順位を決めている。

■今後のプール授業の民間委託と施設について

問

プールの授業を民間委託した場合、施設の活用・管理はどのようになっていくか。

教育総務課長

現在、西原中学校はプールの水を抜いる。管理上あまりよくないので早めに撤去できるように進めていきたい。

問

各小中学校は現在プールがある場所は将来的には空いていくと考えてよいのか。

教育総務課長

空いた場所はどのような活用があるのか今後考えていきたい。

問

プールの授業は今後全ての小中学校で民間へ委託する予定なのか。

教育総務課長

老朽具合を鑑みながら将来的には全校で委託していきたい。

その他の質問

- 役場駐車場管理について
- 災害時のマニュアルについて
- 公共施設の計画について
- 教育施設における熱中症対策について
- 沖縄県における給食費一部補助について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

本委員会が最終確認・編集をしたものです。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

●本委員会が最終確認・編集をしたものです。



やましろ かつ たか
山城 勝貴 議員



■福祉サービス、他市町村との格差是正を！

問

障がい者の移動支援の近隣市町村の利用者負担額は1割である。当事者の方々は普通の生活のしづらさに加え、サービスの地域格差による二重の困難を強いられている。西原町としても現行の2割負担から1割負担に戻すことができないか。

福祉部長

2割負担になった経緯は、障害福祉サービス事業費の増加に伴い、事業を存続

させるため、2割負担をお願いしているところである。今後も移動支援事業を含め、多くの障害福祉サービスの継続を図るため、利用者の理解、協力をお願いしたい。

福祉課長

移動支援は必要な事業だと認識しており、様々な視点から検討が必要かと感じている。現時点での利用者負担額の見直しの検討予定はないが、引き続き他の自治体の動向等を調査していく。

■こどもたちが主体的に避難行動で きる環境を！

問

各小学校、津波災害時の避難場所はどこか、その避難施設との協力体制はどうかを確認し、各所に避難誘導表示板の設置は可能か。

環境安全課長

各学校、津波災害時の避難場所は民間施設が多く、災害時には協力を受けている。民間施設が避難所、指定避難所として担ってもらえるか調整が必要である。その場所への避難誘導板設置については避難指定所になっていないので、ちょっと厳しい。

■放課後健全育成事業の充実を！

問

支援を要するこどもたちが年々増加傾向にある中で放課後児童クラブでは加配職員を含め人材確保に苦慮している現状について見解を問う。

町長

現在、処遇改善事業、障害児受入推進事業、障害児受入強化推進事業は、引き続き行っている。今後も人材確保や補助の在り方について、意見交換をしながら対応を検討したい。



避難誘導標識によって避難場所への詳細なルートを示すことで迷わずに避難することができます。

その他の質問

- 福祉行政について
- 住宅用地特例措置（小規模）の是正措置について
- 学校の備品や施設の設備安全対策について



や び く みつる
屋比久 満 議員



■新ごみ処理施設整備事業を質す

問 現在の築年数と耐用年数を聞く。

総務部長 39年経過し、一般的に20年から30年の耐用年数。

問 現在1日の処理能力を聞く。

総務部長 可燃ごみが98トン、不燃ごみが10トン。

問 故障した際を聞く。

総務部長 相互協定に基づき、協力団体の一般廃棄物の処理施設で委託処理を行うことになっている。

■西原町まちづくりを質す

問 県道29号那覇北中城線の坂田交差点から400メートルは、西原町で負担するかを聞く。

建設部長 建設部長 事業費については、補助事業で沖縄振興公共投資交付金を活用し対応する。



恩納村斎苑



よみたん斎苑

町の火葬場計画は？

問 小波津川改修工事6号車道橋の役場から上流側についても西原町の負担になるか聞く。

建設部長 6号車道橋は全額県負担だが、役場から上流側については、今後県と負担割合を決めることになる。

■火葬場問題を質す

問 西原町での火葬場建設に向けた計画を聞く

町長 県内火葬場や他市町村等から情報収集を行っているさなかであり、火葬問題の解決の方向性を精査している。

問 2炉建設した際の工事費概算を聞く。

町長 令和5年度の調査報告書の試算では、火葬場の概算工事費は土地購入費を含め約15億3,000万円を算出している。

■海外移住者子弟研修を聞く

問 なぜ1名にしたのかを聞く。

町長 平成29年度に事業見直しを行い毎年南米3カ国から3名の受け入れ態勢から、1名を輪番制での受け入れに変更した。

問 次回から最低2名を受け入れてほしい。

町長 これまでの方針に従い通常の年は輪番制で1名を継続し、ウチナーンチュ大会開催年は、南米3カ国とハワイを加えた4カ国から研修受け入れを考えている。

一般質問

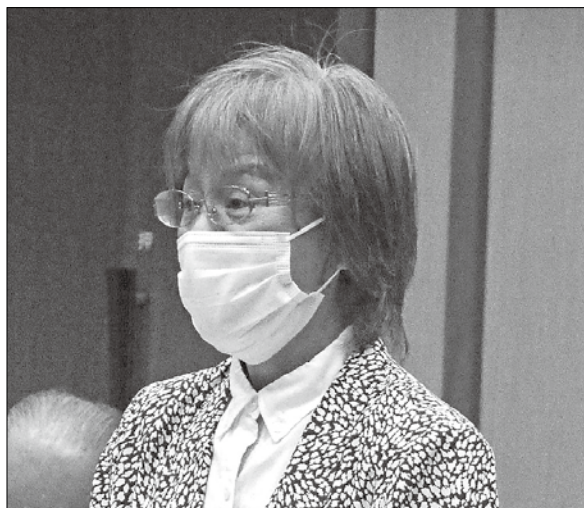
●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

本委員会が最終確認・編集をしたものです。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

本委員会が最終確認・編集をしたものです。



い けい ひろ こ
伊計 裕子 議員



認定こども園の現状は？

問 坂田こども園・西原南こども園の3歳児・4歳児・5歳児の利用人数の内訳を聞く。

こども課長 こども課長 坂田こども園の1号認定の3歳児が3人、4歳児が6人、5歳児が7人、2号認定（保育認定）の3歳児が11人、4歳児が24人、5歳児が64人。西原南こども園の1号認定の3歳児が2人、4歳児が1人、5歳児が1人、2号認定の3歳児が12人、4歳児が14人、5歳児が30人となっている。



坂田こども園



西原南こども園

問 2号認定で3歳児のこどもたちが結構入っているので、3歳児の待機児童解消につながっていると思うが、どうか。

こども課長 3歳児受け入れ枠も増えたことに伴い、待機児童の解消につながっている現状となっている。

問 幼稚園のときにいた先生たちの待遇・処遇はどのようになっているか。

福祉部長 移行前に現場で働いていた会計年度任用職員には、就職説明会を行い、希望者は採用されていると思う。

学童利用料の負担軽減できるところから

問 先ほど家賃補助を優先にすることとであったが、どのような視点でという

ことか。

こども課長 補助メニューがいろいろある中で、家賃補助は利用者の負担軽減を図る補助となっているので、そちらを優先的に考えている。

問 以前は全学童を一緒にということだったと思うが、手挙げ式という市町村もある。利用料を少しでも安くするために手挙げ式で、できるところからやってほしいとの意見を聞いたが。

福祉部長 昨年度までは町内保護者の公平性を考えてということであったが、課題が多いということもあり、予算が可能であれば、できるところからということを視野に入れて検討している。

問 自治会施設や小学校整備などの中での合築の可能性の有無を聞く。

福祉部長 自治会施設や小学校との合築について現時点では検討していない。

その他の質問

- 平和問題について
- 国連女性差別撤廃委員会総括所見（勧告）に関連して



まえ さと こう しん
前里 光信 議員



■台湾有事について

問

台湾有事で町民の生命、身体、財産をどう守るかをいろいろ町長は考えていると思うが、西原町の行政のトップである崎原町長はどういう考えか。

町長

西原町国民保護計画での責務は武力攻撃事態等において国民保護法や国の基本方針、沖縄県国民保護計画を踏まえ国民の協力を得つつ、他の機関と連携協力し、自ら国民の保護のための措置を的確かつ迅速に実施し、その区域において関係機関が実施する国民保護措置を総合的に推進することとなっている。台湾有事における武力攻撃事態等がある場合において

は、国や県からの警報命令、発令や避難措置の指示について、町民に対ししっかり周知を行うとともに避難住民の誘導を行い、町民の安全確保に努めていく。

■教育行政について

問

特別な支援を必要とする児童生徒たちは西原町内に何人いるか、障がい別、学校別に聞く。

教育部長

特別な支援を必要とする児童生徒数は、特別支援学級及び通級指導教室を合わせて、5月1日現在で326名となっている。各学校の障害種別での児童生徒の内訳については、まず特別支援学級について、坂田小では知的が21名、自閉、情緒が41名、言語が2名の計64名、西原小では知的が11名、自閉、情緒が28名の計39名、西原東小では知的が11名、自閉、情緒が48名、言語が2名の計61名、西原南小では知的14名、自閉、情緒が39名の計53名、西原中では知的が14名、自閉、情緒が23名の計37名、西原東中では知的が12名、自閉、情緒が26名、病弱が2名の計40名となっている。また、通級指導教室については坂田小が20名、西原小が4名、東小が2名、南小が3名、西原中が3名、東中はゼロとなっている。

特別支援学級とは？

障害のある児童生徒を対象にした少人数の学級で、児童生徒の教育的ニーズに応じて各教科等の指導を行ったり、自立活動といった特別な教育課程が組まれています。在籍は支援学級ですが、児童生徒の実態に応じて通常学級の児童生徒と一緒に交流及び共同学習を行います。小学校及び中学校に設置され、障害種別に学級が編制されます。



通級指導教室とは？

通常の学級での学習や生活におおむね参加でき、一部特別な指導を必要とする児童生徒に対して、各教科等の授業は通常の学級で行い、障害に応じた特別の指導を「通級指導教室」で行います。通級指導教室では、障害による学習上や生活上の困難の改善及び克服を目的とした特別の指導（自立活動に相当する内容）が行われます。小学校及び中学校、高等学校に設置され、設置状況によって自校通級・他校通級・巡回指導の形態に別れます。

その他の質問

- 県道浦添～西原線の工事について
- 町道の道路脇の雑草について
- 町の公共建物の雨漏りについて
- 大雨、台風、地震、津波等の対策
- 町立の2中学校卒業生の進路について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

本委員会が最終確認・編集をしたものです。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

●本委員会が最終確認・編集をしたものです。



ま え し ろ てつ
真栄城 哲 議員



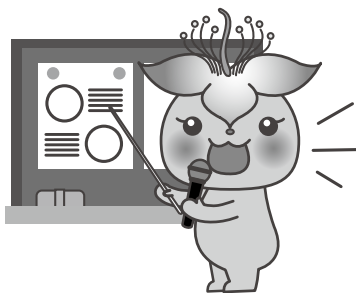
問 新財源としては、全然乏しい。ネーミングライツの達成率は。

企画財政課主幹 積極的に進めているが、現時点ゼロ件である。

町民に「数字と形」で示すべき!!

問 言葉の羅列では、よくわからない。数字と形で示すべき。

町長 企業版ふるさと納税は結構増えている。市街化区域を拡大し住宅が建てられること周知し、固定資産税の評価を上げていく。



町民には「数字と形」で!

問 市街化区域拡大で、見込める税収のシミュレーションは。

税務課主幹 そういった検証をしたことはない。

問 トップセールスで誘致した企業数、雇用者数は。

産業観光課長 両方について、正確な数値は把握していない。

■実情にあった部活動の地域移行を!!

問 R5年から3年かけて移行する方針だが、慌てると地域に合わない制度になる。実情にあったものを構築してほしいが。

教育長 課題を共有でき感謝する。横断的に協議し、少子化の中、部活動離れの中継続できるように、話し合うようにしていく。

■会計年度任用職員の待遇改善を!!

問 煩雑する業務の根幹を担う会計年度任用職員の給与体系について、近隣自治体では4号給アップするが本町では何号給か。

総務課長 1号給になる。

問 月額いくらになるか。

総務課長 1,100円になる。他の市町村は、4,500円（月額）上がるので、差は、3,000円近くになる。

■「財政の硬直化」と診断!!

問 経常収支比率が直近2年間で10%近く上昇。新年度予算も厳しく見ていくべきと考えるが。

企画財政課長 制度的にすぐに削減できないが、町長答弁の具体的な対応策等をやりたい。

問 ずっと言われている新たな財源、めぼしいものがない。ふるさと納税の収支を聞く。

企画財政課主幹 R5年度については、約456万円プラスである。



おおしろ せい いち
大城 誠一 議員



■大型MICE施設建設事業どうなる？

問 沖縄県からは、入札参加の公募を行ったが、参加事業所はなかったとの報告があった。今後のこの事業展開はどうなるのか。

町長 今後の事業展開は事業者への聞き取り、MICE需要調査等を行った上で、有識者で構成する委員会では事業手法、事業範囲、事業効果、ホテルの整備手法等を検証し、可能な限り早期の入札公告を目指していく方針を確認した。



どうなる MICE!?

■権利擁護の推進について

問 本町ことぶきプランにおいて高齢者が認知症などで判断能力が低下することにより、権利侵害することや虐待によって尊厳が傷つけられないよう、安心して暮らしていくために地域包括支援センターと関係機関等と連携し、権利擁護の取組を推進するとある。具体的な取組みである成年後見制度普及啓発と成年後見制度支援事業について聞く。

福祉部長 成年後見制度の普及啓発の取組みについては、地域包括センターのパンフレットやホームページ等に掲載し周知を図っている。

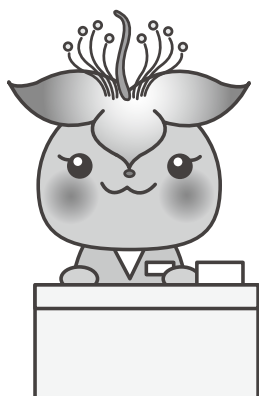
る。成年後見制度利用支援事業は、西原町成年後見制度に係る町長による審判の請求手続き等に関する規定に基づき、審判請求に係る費用を町が負担する事業である。また、西原町成年後見制度報酬助成金支給要綱に基づき町長申立てによる審判請求のあった被後見人等への報酬助成も行っている。

問

町社会福祉協議会で実施している日常生活自立支援事業はどのような事業か。

福祉部長 この事業は、認知症、知的障がい、精神障がい等による判断能力が十分でない方が、地域において自立した生活を行うことができるよう利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理等を援助する事業である。

社会福祉協議会



その他の質問

- 火葬場建設等について
- 町内小中学校不登校の状況について

本委員会が最終確認・編集をしたものです。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

本委員会が最終確認・編集をしたものです。



ながはま
長浜 ひろみ 議員



金融リテラシーについて

で、予算確保の上、国の実施要領等に基づきワクチン接種を実施する。

問

投資で得た利益が非課税になるNISA（少額投資非課税制度）が、資産形成の手段として全国的に利用が進められる一方で、SNS等による投資詐欺被害が増加傾向にある。2024年1月から7月の期間SNS詐欺で県内9億5,700万円に上る被害が発生。SNSを含めた投資詐欺被害状況と経済的自立及びよりよい生活を送るため、お金に関する知識や判断力向上の取組みとして、町民向けの金融リテラシー教育を行うべきだと思うがどうか。

建設部長

本町でSNSを含めた投資詐欺や特殊詐欺の被害状況は、今年11月末時点1件。町民向けの金融リテラシー教育としては、浦添警察署による各地域へポスター掲示やチラシ配布、防犯啓発としては自治会等への勉強会等を行っている。

火葬場について

問

町は単独で火葬場建設と火葬場運営を行うのか、単独の場合補助制度はあるか。

総務部長

令和5年度の火葬場等整備基礎調査等の内容精査し、火葬場の建設及び運営も精査の同意を行う。火葬場整備は国庫補助制度がなく、一般財源の捻出、地方債を活用することになる。



いなんせ斎苑

南斎場



町単独で火葬場整備は？

福祉部長

厚労省は来年4月から带状疱疹ワクチンを定期予防接種化する見込み。定期接種化する場合、対象年齢は65歳で、目的は带状疱疹やその合併症による重症化を予防すること。65歳以降5歳刻みで接種を受けられ、接種費用の一部を公費負担し、自己負担の軽減を図ること。本町では同ワクチンの定期予防接種が実現するか。

福祉部長

带状疱疹ワクチンの定期予防接種は、厚労省にて定期接種化に向けて調整中との報道はあるが、具体的な内容は示されていない。定期接種化の決定後は実施は義務となるの

その他の質問

- 学校給食費無償化について
- ゴミ袋について

一般質問

●この一般質問の内容は、会議録（反訳文）に基づいて各議員が質問の一部をまとめ、各議員の氏名横のQRコードからその議員の一般質問の動画がご覧いただけます。

本委員会が最終確認・編集をしたものです。

■施政方針及び町政運営について 聞く



あら た そう しん
新田 宗信 議員



問 国道329号線バイパス整備について。

町長 小那覇交差点や内間交差点等の渋滞緩和につながるものと期待を寄せており、併せて県の大規模MICE施設へのアクセス道路等、高規格道路として期待をしている。

問 モノレール延伸についての見解を聞く。



国道329号線バイパス整備は？

町長 県道浦添西原線の整備状況、国道329号西原バイパスの整備状況等や大型MICE施設の動向を見据えて、都市モノレールの延伸について議論がなされるものと考えている。

問 事務担任者手当が据え置きになり何年になるのか、今後支援金の増額はあるのか聞く。

総務部長 補助金の増額は現在行っていない。

総務課長 14、5年前だったと記憶している。

問 坂田小学校から坂田交差点までの街灯設置について見解を聞く。

建設部長 県にて確認したところ道路照明

等の設置計画はないと聞いている。

土木課長 夜間は大変暗く、何件か苦情があり、街灯設置の要請等を受けたことはある。

町長 私はその現状をあまり知らなかったが、近々所長と会う機会がある。その辺の情報提供もしながら、何か対策ができないか、話をしていく。



坂田小学校～坂田十字路交差点間に街灯設置を！

その他の質問

- 町職員の自治会加入率について。
- 水道料金の見直しについて。
- 農福連携と学校給食の食材の確保について。
- 農業振興について。
- 区画整理事業について。
- 運玉森の整備計画について。
- モノレール駅等の再開発について。
- 里道、道路網及び排水施設の整備について。
- 農業委員会会長及び監査委員の議会への出席等について。

令和6年度 西原町の一般会計補正予算

(第4号補正)

可決!



歳入歳出それぞれ5億6,449万8,000円を追加し、令和6年度の歳入歳出予算の総額が

158億7,891万2,000円となっています。

主な歳入

○町税 +1億13万5,000円
○県支出金 +1億3,721万3,000円
○町債 +5,970万円

○国庫支出金 +1億4,798万円
○繰越金 +1億319万4,000円

主な歳出

○総務費 +1億5,676万5,000円
○農林水産業費 +92万円
○公債費 +502万3,000円

○民生費 +3億62万1,000円
○土木費 +7,246万円
○予備費 +1,000万円

○衛生費 +1,505万2,000円
○教育費 +365万7,000円

令和6年度 西原町の特別会計補正予算

可決!



国民健康保険特別会計 (第4号補正)

歳入歳出それぞれ167万9,000円を追加し、総額を**46億1,296万3,000円**とする。

水道事業会計 (第3号補正)

資本的支出を37万1,000円追加し、**2億7,480万3,000円**とする。

公共下水道事業会計 (第3号補正)

資本的収入を141万4,000円追加し、**7億8,811万1,000円**とする。

土地区画整理事業特別会計 (第3号補正)

歳入歳出それぞれ5,050万8,000円を増額し、総額を**5億309万1,000円**とする。

後期高齢者医療特別会計 (第2号補正)

歳入歳出それぞれ1,349万5,000円を追加し、総額を**4億2,783万1,000円**とする。

資本的支出を141万4,000円追加し、**9億4,788万6,000円**とする。

みなさんからの陳情はこうなりました
12月定例会で審査した陳情の結果を報告します。

	件名	提出者	採択方法及び 附託委員会	結果
陳情第955号	女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求める意見書に関する陳情	神谷めぐみ	総務財政常任委員会	継続審議
陳情第956号	令和7年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い	公益社団法人日本理科教育振興協会	本会議即決	採択
陳情第957号	若い人も高齢者も安心できる「最低保障年金制度」を求める陳情	全日本年金者組合 沖縄県支部	配付	
陳情第958号	物価上昇に見合う公的年金の引き上げを求める陳情	全日本年金者組合 沖縄県支部	配付	
陳情第959号	加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度創設を求める陳情	全日本年金者組合 沖縄県支部	配付	
陳情第960号	令和7年度社会福祉施策及び予算の充実について (陳情)	沖縄県社会福祉施策・予算対策協議会	本会議即決	採択
陳情第962号	学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い	一般社団法人日本教材備品協会	本会議即決	採択
陳情第963号	年度で算出される補助基準額交付についての陳情書	西原町学童保育連絡協議会	文教厚生常任委員会	採択
陳情第964号	臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人 中国における 臓器移植を考える会	配付	
陳情第965号	大雨による水害対策等の改善及び補償について (陳情)	糸数 政廣	建設産業常任委員会	継続審議
陳情第966号	教育委員選考に関する陳情	玉城 松一	文教厚生常任委員会	審議未了
陳情第967号	地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望	公益社団法人 西原町シルバー人材センター	本会議即決	採択
陳情第968号	南西石油の背後水路 (公有水面) の土砂堆積対策について (陳情)	西原町まちづくり推進協議会	建設産業常任委員会	採択
陳情第948号	乳幼児の「命と健康を守る」為の寄り添い支援体制についてに関する陳情	一般社団法人共育ステーションつむぎ	文教厚生常任委員会	採択

令和 6 年 第 7 回臨時会 議案議決等結果

事件番号	事 件 名	議決結果
報告第11号	専決処分の報告について（R5-6 西原西地区造成工事）	報告
議案第54号	工事請負契約締結について（西原町庁舎空調取替工事）	原案可決
議案第55号	令和 6 年度 西原町一般会計補正予算について	原案可決

令和 6 年 第 8 回定例会 議案議決等結果

事件番号	事 件 名	議決結果
報告第12号	専決処分の報告について（西原南小学校体育館屋根長寿命化工事）	報告
議案第56号	西原町いいあんべ一家指定管理者の指定について	原案可決
議案第57号	中部広域市町村圏事務組合規約の変更について	原案可決
議案第58号	工事請負変更契約について（小波津川 6 号車道橋下部工工事（A 1））	原案可決
議案第59号	西原町行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例について	原案可決
議案第60号	西原町立学校設置条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第61号	西原町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第62号	令和 6 年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第63号	令和 6 年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第64号	令和 6 年度西原町後期高齢者医療特別会計補正予算について	原案可決
議案第65号	令和 6 年度西原町土地区画整理事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第66号	令和 6 年度西原町下水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第67号	令和 6 年度西原町水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第68号	西原町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第69号	西原町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第70号	令和 6 年度西原町一般会計補正予算について	原案可決
議案第71号	令和 6 年度西原町国民健康保険特別会計補正予算について	原案可決
議案第72号	令和 6 年度西原町土地区画整理事業特別会計補正予算について	原案可決
議案第73号	令和 6 年度西原町下水道事業会計補正予算について	原案可決
議案第74号	令和 6 年度西原町水道事業会計補正予算について	原案可決
陳情第956号	令和 7 年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い	原案可決
陳情第960号	令和 7 年度社会福祉施策及び予算の充実について（陳情）	原案可決
陳情第962号	学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い	原案可決
陳情第967号	地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望	原案可決
陳情第968号	南西石油の背後水路（公有水面）の土砂堆積対策について（陳情）	原案可決
陳情第948号	乳幼児の「命と健康を守る」為の寄り添い支援体制についてに関する陳情	原案可決
陳情第963号	年度で算出される補助基準額交付についての陳情書	原案可決
意見書第 3 号	南西石油後背公有水路の抜本的な改善を求める意見書	原案可決
決議第 3 号	南西石油後背公有水路の抜本的な改善を求める決議	原案可決
意見書第 4 号	国道 329 号バイパス隣接地域に寄り添った計画遂行を求める意見書	原案可決
決議第 4 号	国道 329 号バイパス隣接地域に寄り添った計画遂行を求める決議	原案可決
	閉会中の継続審査・調査申出書	可決
	議員派遣の件	可決

議会活動

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会(伊集梧委員長)は令和6年11月27日に委員会を開催し、「乳幼児の命と健康を守る為の寄り添い支援体制に関する陳情」の審査を行ないました。

陳情者の一般社団法人共育ステーションつむぎの高良久美子代表の説明によると、経済的な事情で赤ちゃん用の粉ミルクを買えなかったり、節約のために水で薄めて飲まさざるを得ない家庭があるとのことでした。

現在、本町も赤ちゃんの命を守るために民間事業者と連携し、ミルクの無償提供等の支援をしています。今後、行政と民間事業者のさらなる連携の強化や広報・相談体制の確立及び国や県の利用可能な補助制度の積極的活用を進めるべきだと全会一致で採択いたしました。



一般社団法人
共育ステーションつむぎ
高良久美子 代表



会議の様子

第68回町村議会議長全国大会

全国町村議会議長会(渡部孝樹会長)は、令和6年11月13日から14日の日程で東京のNHKホールにおいて、「第68回町村議会議長全国大会」を開催し、本町からは議長及び議会事務局長が参加しました。会議では全国大会要望書等の審議が行われ、全会一致で提案のとおり決定しました。

また沖縄県町村議会議長会の懇親会では、沖縄県町村議会議長会副会長である大城純孝議長が乾杯の音頭をとりました。



町村議会議長全国大会の様子



懇親会で乾杯の音頭をとる大城純孝議長

議会活性化調査特別委員会

議会活性化調査特別委員会(仲松 勤 委員長)は令和6年11月18日に南風原町を訪問し、議会基本条例の策定を目指す取組みについて研修を行いました。西原町においても議会基本条例制定を目指しており、条例設置の背景や課題について説明を受け、また課題として議会活性化調査特別委員会の多岐にわたる調査項目の絞り込みや課題の整理などを学びました。なにより、議会基本条例は制定することが目的ではなく、しっかりと運用することが目的であることなどを改めて認識しました。これらを踏まえ今後の議会基本条例の方向性について議論を深めてまいります。

お詫びと訂正

議会だより第102号において、沖縄小林流志道館様の表紙、および16ページの紹介文のお名前の漢字を誤って掲載しておりました。

お詫びして訂正いたします。

(誤) 沖縄少林流志流館 → (正) 沖縄小林流志流館



題字制作者

坂田小学校2年生

照屋 奏汰さん

てるや かなた

【ひとこと】

今年からお習字を始めました。
楽しいです♪ もっとたくさん
書けるようになります。



表紙の題字と写真を

お寄せください

あなたの作品を議会だよりに掲載しませんか？

表紙の**題字**(『議会だより』の文字。横書き)と**写真**を募集しています。うまいへたは関係ありません。こどもから大人まで、生き生きとした題字と写真をお待ちしています。

送付先 議会事務局(担当: 当真)

TEL 945-5122 FAX 945-5045

mail: gikai_jimu@town.nishihara.okinawa.jp

12月議会の傍聴者

延べ人数

13/人

議会だよりに対するご意見、
ご要望等はこちらへ

西原町議会事務局
TEL: 098-945-5122

議会広報調査特別委員会
委員 与儀 清

三月は卒業、別れの季節です。私は今70。70はゴルフで言うところの「2」で、コースによつてはプロでもスゴイ事である。私の70はと言うと男四人いるのかかわらずモークヤールバー(稼ぐ子)がひとりもいない。これは沖縄議員の中でも私ひとりであり県民の中にもいないと思われ。

我が国には国民栄誉賞なるものがある。受賞した方々はどなたも錚々(そうそう)たる方々であるが、私は彼等に及ぶべきではないと思う。何故なら彼等は十二分に有名でありその対価も得ている。私の様に初婚で離婚歴がなく、70才を過ぎてもモークヤールがひとりもない。この様に世界的偉業をなしているにも関わらず、誰にも知られず理解もされず、一円の対価も得ていない。しかも少子化が叫ばれて久しい今、私に国民栄誉賞を、賞金三百万にあげるべきである。そう心で「つぶやく」日々。

つぶやき